

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	舢松職能訓練センター管理事業				シート番号	015-015	
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	ものづくり支援	課 評価責任者(課長名)	北口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
		2	事業開始年度	昭和 63 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)					無
	4	関連計画					
	5	事業実施の経緯	企業への就労が困難な心身障害者に対する職能訓練の場が必要とされている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市舢松職能訓練センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	自立通所が可能で、働く意欲のある心身障害者。			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	企業への就労が困難な心身障害者に対し、一定の職業的訓練(職業能力の開発・技能養成等)と生活指導を行うことを目的とする舢松職能訓練センターの施設維持管理を行う。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市立舢松職能訓練センターの適切な維持管理			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	5,520	3,341	5,212	5,240	4,563	4,469	4,438
主な事業費内訳	施設等修繕費	千円	2,957	865	2,649	2,474	2,000	1,900	2,000
	機械・機器等借上料	千円	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,186
	国・府支出金	千円							
	財源内訳	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	820	820	810	1,640
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,340	4,161	6,032	6,060	5,383	5,279	6,078

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	舢松職能訓練センター管理事業	シート番号	015-015
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	毎年実施する法定点検に加え建築監理課と協力し自主点検を行い、各修繕の可否について検討した。優先度の高い、法定点検で指摘のあった煙感知器の取替工事を実施したほか、更新推奨年を過ぎた高圧機器の取替工事を実施するなど、施設の維持管理を適切に行った。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		施設の不適切な整備状況による無事故日数		目標値				243
				実績値	244	244	240	
				達成率				
			評価					
	算出方法・設定根拠など		目標値は年間日数-休館日(土、日、祝、12/29~1/3)					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			目標値					
			実績値					
		達成率						
		評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	施設の不適切な整備状況による無事故日数	日	244	244	240
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,161	6,060	5,279
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	17,053	24,836	21,996
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	施設の職員と連絡を密に取っており、施設に不具合等が生じた際には速やかに連絡が入り、迅速に対応しているため、事故等を未然に防ぐことができています。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	舩松職能訓練センター管理事業	シート番号	015-015
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 公共施設の維持管理であるため廃止できない	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記と同様で休止できない	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 維持管理上、必要な修繕は行わざるを得ない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 施設の運営は障害者支援課が実施しているため。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (障害者支援課) 関連事業名 (職能訓練センター運営) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	①関係機関との調整も必要であり、直ちに民間実施・委託を検討できる状況ではない。 ②公共施設の維持管理であり、改善の余地がない。 ③他部局とは必要に応じて調整・連携を行っている。 ④公共施設の維持管理であるため該当しない。 ⑤公共施設の維持管理であるため他都市等と比較できない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	施設の老朽化に伴い修繕対応が必要な箇所が増えてくるため、ソフト事業を実施している各関係機関と調整の上、施設の在り方を検討する必要がある。		